

生息する動物について

非常に短い夏と長く厳しい冬にもかかわらず、高山草原の姿見の池周辺では数多くの動物が繁殖しています。たとえばエゾナキウサギは、小さく機敏な、ウサギのような哺乳類で、岩の隙間や穴を巣穴として生息しています。さまざまな花や草を食べ、冬の間は食物を保存します。

一方、エゾシマリスは、リス科に属する小さな冬眠性の齧歯類(げっしるい)です。日本では北海道固有の動物で、背中の縞模様の毛皮からすぐに識別できます。主に昆虫、木の実、種子を食べ、これらの食料源を巣穴に貯め込みます。

キタキツネは体長約 1 メートルまで成長し、耳と足部分が黒い色をしています。主に齧歯類(げっしるい)、野ウサギ、その他の小さな野生動物を食べますが、放置されたり食べ残された人間の食べ物にも飛びつきます。これより目撃される頻度は少ないですが、周辺地域にはヒグマやニホンジカ、クロテンも生息しています。